



# バリアフリーのまちづくりを すす 進めていくための ほしゅう キャッチコピーを募集します



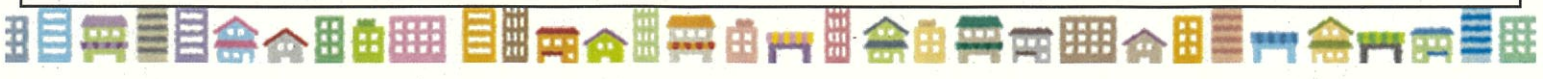
くまもとし  
熊本市は、「だれもが <sup>いどう</sup>移動しやすく <sup>く</sup>暮らしやすい『おたがいさま』で <sup>ささ</sup>支えあ  
じょうしつ <sup>せいかつとし</sup>上質な生活都市」を基本理念に掲げ、みんなが好きな時に行きたいところに行ける  
まち <sup>めざ</sup>を目指しています。

そんなまちにしていくためには、<sup>みち</sup>道にある <sup>の</sup>乗り越えづらい <sup>だんさ</sup>段差をなくしたりする工  
夫 <sup>ふう</sup>だけでなく、<sup>なに</sup>何かで困っている <sup>ひと</sup>人に周りの人が気づいて <sup>こえ</sup>声をかけたり、<sup>こま</sup>困っている  
ひと <sup>まわ</sup>人が周りの人にお手伝いを頼みやすい環境が必要です。

これら「<sup>どうろ</sup>道路や <sup>たてもの</sup>建物などのバリアフリー」や「<sup>こころ</sup>心のバリアフリー（※）」につな  
が <sup>とりくみ</sup>る取組は、<sup>いろ</sup>色々な人の <sup>ひと</sup>立場に立って <sup>た</sup>想像したり、<sup>こえ</sup>声をかけあって、<sup>ひと</sup>どんな人がどうい  
う <sup>こま</sup>ことに困っているのかということに <sup>き</sup>気づくことから生まれます。

そんなこれからの“バリアフリーのまちづくり”に、<sup>ひつよう</sup>必要なことに気づいて、みんな  
な <sup>いっしょ</sup>で一緒に取り組む <sup>とく</sup>きっかけとなるような「あなたの <sup>ことば</sup>言葉（キャッチコピー）」を募  
集 <sup>しゅう</sup>します。 **応募方法は裏面です。** <sup>おうぼうほう</sup>たくさんのご応募をお待ちしています。

※ <sup>こころ</sup>心のバリアフリーとは  
<sup>さまざま</sup>「様々な心身の特性や <sup>しんしん</sup>考え方を <sup>とくせい</sup>持つすべての人々が、<sup>かた</sup>相互に <sup>ひとびと</sup>理解を <sup>そうご</sup>深めようと <sup>りかい</sup>コミュニケーションを  
<sup>ふか</sup>とり、<sup>ささ</sup>支え合うこと」





ぼしゅうようこう

# 募集要項

## 1 募集作品

バリアフリーのまちづくりを市民全員で一緒になって進めていくことを簡潔かつ印象的に表現したもの。

おおむね20字以内とし、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字が使用可。

【例】「街にでかけよう」-いつでも、どこへでも- (柏市バリアフリー基本構想)

## 2 応募資格

市内に住むか通勤・通学する方

## 3 応募方法

件名を「バリアフリーマスタープランキャッチコピー募集」と表記し、以下の項目を明記のうえ、メール ([toshiseisaku@city.kumamoto.lg.jp](mailto:toshiseisaku@city.kumamoto.lg.jp)) で都市政策課までお送りください。

- 氏名
- 住所
- 年齢 (学生は学年も)
- 電話番号

## 4 応募〆切

令和4年(2022年)9月15日(木)まで

## 5 審査結果

3つの部門ごとに、優秀作品を選びます。

【小学生以下の部】 【中学生の部】 【一般の部】

※市民投票等を経て、令和5年2月頃に発表予定です。

※受賞作品は、現在作成中のバリアフリーマスタープランへ掲載予定です。

## 6 お問い合わせ

熊本市都市政策課 (☎096-328-2502)

## 7 参考

バリアフリーマスタープランの策定に向けた協議を行うため、

熊本市移動等円滑化推進協議会を設置しています。

協議会の議事要旨や会議資料等は右記QRコードからご覧いただけます。



熊本市移動等円滑化推進協議会

